

PRESS RELEASE

2015年7月9日

報道関係者様各位




国内初RECパートナープログラムメンバーに認定 日本の住宅向け太陽光発電市場に攻勢をかける。



日本で初めてプラチナ・パートナーとなったWQとRECのメンバー

この度、株式会社WQ(東京都港区、代表取締役：シュトゥエニー シュテフェン、以下WQ)は、ヨーロッパ最大の太陽光モジュールメーカーであるREC Solar Holdings(以下REC)と、国内初となるRECパートナープログラムメンバーとして提携する事が決まりました。WQは、その経験とRECの高品質な太陽光モジュールを最大限に活かし、安定的に需要のある住宅市場で販売を促進するために、本プログラムに参加することになりました。RECとWQは、製品と設置において卓越した品質を確保するためRECソーラープロフェッショナルの認定を協力して行っています。

日本の太陽光市場は、買取価格の見直しにより産業用から住宅用へとシフトしていく中でも、生涯を通じた発電コスト(LCOE)の視点では太陽光発電は益々有望視されており、グリッドパリティは間近に迫りつつあります。住宅用太陽光発電の買取価格は33円/kWhとなり、初年度から比較すると15円も引き下げられたこととなります。しかし、太陽光発電システムの導入平均価格は過去6年間で約50%下がっていることから、今後も、住宅用太陽光発電の導入が進んでいくと考えられます。

「固定買取価格値下げの影響は、大規模発電所、商業施設および産業向けの設置に比べて住宅市場ではそれほど大きなものではありません」とRECソーラー日本の笠原唯男会長は言います。「RECでは住宅向けの販売を強化していく予定であり、一方、2015年の日本全体の住宅向けの太陽光発電の導入量は2GWに達すると予測しています。モジュール、パワーコン、ケーブルなど住宅向けのシステム販売が開始できたこともあり、クリーンエネルギーを求め太陽光発電へ移行を望む日本の住宅オーナーの期待に応える上で、当社は磐石な状況となりました」と同会長は話しています。

RECとの新たなパートナーシップによって、WQは日本でのビジネスの成功に不可欠な長期的なアライアンスを構築していきます。WQは、世界で業界最高水準の品質を持つRECの太陽光モジュールを日本の市場に導入する取り組みを行っています。「世界一流品質を、日本へ」をモットーに、お客様の状況に合わせた最適な商品を、より多くの日本の皆様に広めていけるよう活動してきた結果、WQは約400件の太陽光発電プロジェクトにトータル122,000枚以上のRECソーラーモジュールを販売し、その合計容量は31.3 MWに達しています。その実績が認められ、今回、国内メンバー第一号として、本提携プログラムの最高ランクであるプラチナ・パートナーメンバーとなりました。WQのCEOであるシュトゥエニーシュテフェン氏は、「強力なブランド名をもった経験豊富なRECとのコラボレーションを楽しみにしています。当社では、お客様に長年に渡る高い信頼性をお届けするため、高品質なREC太陽光モジュールを採用していきます」と話しています。

WQの概要	2013年5月設立	主に、元Qセルズジャパンのメンバーにより設立された、エネルギーカンパニー。「世界一流品質を、日本へ」を看板に掲げる。
	2013年度年商：10億円	品質をキーワードに、国内外を問わず、優れた品質の商品を導入し、日本での健全な再生エネルギーの発展を目指す。
	2014年度年商：35億円	取扱機器：太陽光発電設備全般、独立電源システム

リリース元：株式会社WQ (ダブルキュー) 東京都中央区銀座3-11-3 LEAGUE銀座9F wqinc.co.jp

問合せ窓口

株式会社WQ (ダブルキュー) 東京都中央区銀座3-11-3 LEAGUE銀座9F

03-6228-4560 (河内まで)